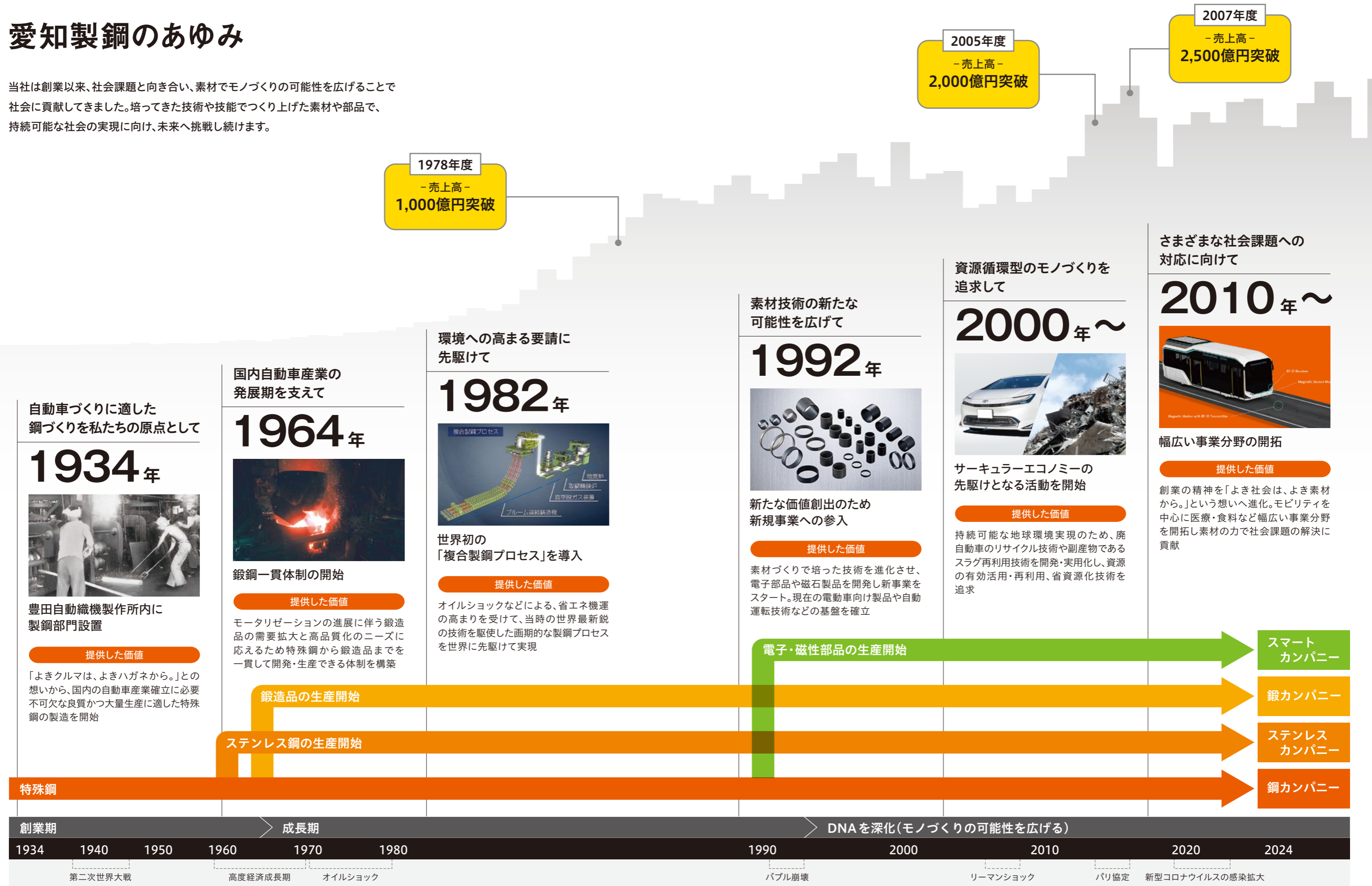


愛知製鋼のあゆみ

当社は創業以来、社会課題と向き合い、素材でモノづくりの可能性を広げることで社会に貢献してきました。培ってきた技術や技能でつくり上げた素材や部品で、持続可能な社会の実現に向け、未来へ挑戦し続けます。



自動車づくりに適した
鋼づくりを私たちの原点として

1934年



豊田自動織機製作所内に
製鋼部門設置

提供した価値

「よきクルマは、よきハガネから。」との想いから、国内の自動車産業確立に必要な良質かつ大量生産に適した特殊鋼の製造を開始

国内自動車産業の
発展期を支えて

1964年



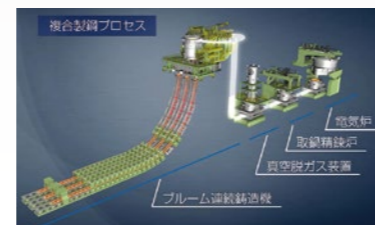
鍛鋼一貫体制の開始

提供した価値

モータリゼーションの進展に伴う鍛造品の需要拡大と高品質化のニーズに応えるため特殊鋼から鍛造品までを一貫して開発・生産できる体制を構築

環境への高まる要請に
先駆けて

1982年



世界初の
「複合製鋼プロセス」を導入

提供した価値

オイルショックなどによる、省エネ機運の高まりを受けて、当時の世界最新鋭の技術を駆使した画期的な製鋼プロセスを世界に先駆けて実現

素材技術の新たな
可能性を広げて

1992年



新たな価値創出のため
新規事業への参入

提供した価値

素材づくりで培った技術を進化させ、電子部品や磁石製品を開発し新事業をスタート。現在の電動車向け製品や自動運転技術などの基盤を確立

資源循環型のモノづくりを
追求して

2000年～



サーキュラーエコノミーの
先駆けとなる活動を開始

提供した価値

持続可能な地球環境実現のため、廃自動車のリサイクル技術や副産物であるスラグ再利用技術を開発・実用化し、資源の有効活用・再利用、省資源化技術を追求

さまざまな社会課題への
対応に向けて

2010年～



幅広い事業分野の開拓

提供した価値

創業の精神を「よき社会は、よき素材から。」という想いへ進化。モビリティを中心に医療・食料など幅広い事業分野を開拓し素材の力で社会課題の解決に貢献

特殊鋼

鍛造品の生産開始

ステンレス鋼の生産開始

電子・磁性部品の生産開始

スマート
カンパニー

鍛カンパニー

ステンレス
カンパニー

鋼カンパニー

創業期 → 成長期 → DNAを深化(モノづくりの可能性を広げる)

1934 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2024

第二次世界大戦

高度経済成長期

オイルショック

バブル崩壊

リーマンショック

パリ協定

新型コロナウイルスの感染拡大